

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	23 26	利用者が、生きがいや役割を持って生き生きと生活できるために、本人をより理解し、グループホームでの生活に取り入れていく。	利用者それぞれが、充実した生活を送れるよう支援する	利用者のできること、出来ない事、それが体方面・認面での問題なのかを把握する。気付きを具体的に。アセスメント。カンファレンスを行い、職員全体での問題の把握、プランの作成、支援に繋げる。本人や家族の意向を聞き取り、プランに反映させる。	6ヶ月
2	33	利用者の重度化、終末期ケアが増えてきている。それに応じた対応が必要。	重度化、終末期でも利用者が安心して生活できる	重度化の予防(体操、レクリエーション、脳トレ、家事作業の提供、心身状態の観察)勉強会の開催。終末期の家族、医師、訪問看護師、職員の連携と、認識の共有。	6ヶ月
3	2 19 20	地域住民、なじみの場所(人)との関わりをもつ	地域、なじみの場所のつながりを大切にす る	利用者本人のなじみの場所や人を会話の中から聞き取りし、実際に出向いたりできるよう検討する。地域行事への参加。子供会との関わりを増やす。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。